

原子力に関する不正確と思われる情報シート

担当者名	4-1
掲載日	平成22年4月9日
新聞またはサイト名	北海道新聞
タイトル	「ブルサーマル」撤回を訴え
不正確だと思われる情報の内容	<p>[REDACTED]は「泊原発沖に新たな活断層が発見される可能性が指摘されているにもかかわらず計画を強行している」</p> <p>[REDACTED]の[REDACTED]らが日本地震学会で平成21年10月23日に発表し、指摘した泊沖の活断層の件を、受けている。</p> <p>情報に対するコメント</p> <p>原子力保安院では、同年11月14日に、北海道原子力防災センターの「1日検査官事務所(対話の集い)」にて、参加者からの質問に回答している。</p> <p>その次点では確認中であるとし、平成20年10月7日に泊3号機の原子炉施設の耐震設計審査視診改訂に伴う安全評価結果にて説明。</p>
情報の内容への対応	<p>記事の内容を裏付けるデータを添付</p>
記事のコメントに関する参考資料	http://www.hepco.co.jp/info/2010/1186925_1424.html
備考	保安院からの資料は未掲載のようであるが、北電が国宛に提出している。

原子力に関する不正確と思われる情報シート

4-2	
担当者名	
掲載日	平成22年4月16日 4月28日
新聞またはサイト名	佐賀新聞(4-16朝刊、4-28朝刊)
タイトル	県の事前了解に抗議 MOX輸送で市民団体(4-16) MOX燃料の海上輸送反対 九電に申し入れ 反原発8団体(4-28)
不正確だと思われる情報の内容	ブルサーマルと佐賀県の100年を考える会「輸送容器の安全確認が不十分」 原水爆禁止九州ブロック連絡会議他8団体「MOX燃料の安全性に関する疑問が 解明されていない」
情報に対するコメント	九電玄海原子力発電所に対して、反原子力団体が、MOX燃料の海上輸送に反 対しており、県に抗議し、九電に申入書を提出している。 MOX燃料の安全性、輸送については、保安院のFAQ、電事連及びA to Zにおいても 安全性は説明されている。
情報の内容への対応	記事の内容を裏付けるデータを添付
記事のコメントに関する参考資料	http://www.fepc.or.jp/present/cycle/safety/sw_index_02/index.html http://www.nisa.meti.go.jp/faq/faq_a06.html http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/cycle/plu_safety/mox.html
備考	

原子力に関する不正確と思われる情報シート

4-3	
担当者名	
掲載日	平成22年4月20日
新聞またはサイト名	山口新聞(4/20朝刊3面)
タイトル	上関原発工事の中止要請、生態学会
不正確だと思われる情報の内容	日本生態学会は、中国電力本社を訪ね、…。上関原子力発電所建設工事の中止などを求める要望書を提出した。…「建設計画が進めば、からうじで残された周防灘の生物多様性と生態系が著しく損なわれる」
情報に対するコメント	中国電力では、有識者で構成する有識者による環境監視委員会を設置。中国電力から提出される報告書について検討している。 同委員会は、中国電力の生態系には影響しないとする調査報告を了承している。
情報の内容への対応	記事の内容を裏付けるデータを添付
記事のコメントに関する参考資料	http://www.energia.co.jp/atom/kami_eco2_4.html http://mytown.asahi.com/areanews/yamaguchi/SEB201007280052.html
備考	2010年の会合は7月に開催され、同委員会は中国電力の報告書を承認した。次回は1年後

原子力に関する不正確と思われる情報シート

担当者名	5-1	
掲載日		平成22年5月26日
新聞またはサイト名		南日本新聞
タイトル		川内原発増設 反対の市民ら県に署名提出
不正確と思われる内容		九州電力の川内原子力発電所3号機増設計画に反対する市民団体「反原発かごしまネット」「温排水で海の環境は破壊されている。…温排水が再び原発に取り込まれ、さらに温度が高くなつて排出される」
情報に対するコメント		温排水の取水口と、放出口には相互影響がないように、設置されている。 また、温排水を利用して養殖もなされている。
情報の内容への対応		記事の内容を裏付けるデータを添付
記事のコメントに関する参考資料		http://www.rist.or.jp/atomica/data/dat_detail.php?Title_No=01-04-03-02
備考		

原子力に関する不正確と思われる情報シート

担当者名	6月-1
掲載日	平成22年6月4日
新聞またはサイト名	朝日新聞 朝刊29面
タイトル	原発計画に揺れる島 描く
不正確と思われる内容	祝島の島民の姿を記録した「ミツバチの羽音と地球の回転」 ■■■■■ が完成した。「温排水で漁業に影響が出る」などとして、9割が反対しているとされている。
情報に対するコメント	温排水については、電事連にてどのような調査をしているかを公表している。 実際には、温排水を養殖に利用している実例も公表している。
情報の内容への対応	記事の内容を裏付けるデータを添付
記事のコメントに関する参考資料	http://www.fepc.or.jp/present/chilki/nuclear/onhaisui/index.html
備考	

原子力に関する不正確と思われる情報シート

担当者名	6月-2	
掲載日		平成22年6月13日
新聞またはサイト名		北海道新聞6-13朝刊2面
タイトル		「玄海原発プルサーマル半年 運転「順調」不安は消えず」
不正確と思われる内容		「MOX燃料を、ウラン燃料の使用を前提とした原子炉で燃やすと、原子炉を停止させる制御棒の効きが悪くなる」と言わわれている。
情報に対するコメント		制御棒の効き具合については、九州電力のfaqで対応している。掲示されている資料は保安院が開催した2005年10月2日のプルトニウムシンポジウムで配付された、「玄海原子力発電所3号炉の原子炉設置変更許可について」JP.10で、安全と説明されている。
情報の内容への対応		記事の内容を裏付けるデータを添付
記事のコメントに関する参考資料		http://www.kyuden.co.jp/nuclear_pluthermal qa 01.html http://www.nisa.meti.go.jp/koho/symposium/pluthermal/genkai051002.html http://www.nisa.meti.go.jp/koho/symposium/files/pp 04.pdf
備考		

原子力に関する不正確と思われる情報シート

担当者名	8月-1	
掲載日		平成22年8月10日
新聞またはサイト名		佐賀新聞 朝刊 26面
タイトル	MOX燃料 [REDACTED] 九州7県130人が提訴―玄海原発3号機のブルサーマル	などによると、メロックス社のMOX燃料A型を使用した場合、ガスが発生して燃料を包んでいる冷却材との間にすき間を生じさせた「ギヤップ再開」と呼ばれる現象が起きた。最終的に燃料の溶融や被覆管破損につながり、「ギヤップ再開は燃料棒の内圧が19.7メガパスカルを超えると発生するとされる。・・」
不正確と思われる内容		MOX燃料の内圧が上がった場合は、保安院が開催した2005年10月2日のブルトニウムシンポジウムで配付された、「玄海原子力発電所3号炉の原子炉設置変更許可について」P.15で、安全と説明されている。同様の説明は、原子力学会のブルサーマルについての説明にも掲載されている。
情報に対するコメント		記事の内容を裏付けるデータを添付
情報の内容への対応		
記事のコメントに関する参考資料		http://www.nisa.meti.go.jp/koho/symposium/pluthermal/genkai051002.html http://www.nisa.meti.go.jp/koho/symposium/files/pp_04.pdf http://wwwsoc.nii.ac.jp/aesi/division/sed/PuthermalCD/citizensversion/chapter
備考		

原子力に関する不正確と思われる情報シート

担当者名	■■■■■
掲載日	平成22年9月10日
新聞またはサイト名	南日本新聞9-10朝刊24面
タイトル	原発海への影響調査委設置要請
不正確と思われる内容	九州電力の川内原子力発電所3号機増設に反対する市民団体「反原発・かごしまネット」は、川内原発の温排水で周辺環境が悪化しているとして、専門家による調査委員会の設置を県に提出した。
情報に対するコメント	原子力発電所の温排水によって、周囲環境が悪化しているという具体的な根拠はなく、温排水については、電事連にてどのような調査をしているかを公表している。 実際には、温排水を養殖に利用している実例も公表している。
情報の内容への対応	記事の内容を裏付けるデータを添付
記事のコメントに関する参考資料	http://www.fepc.or.jp/present/chiiiki/nuclear/onhaisui/index.html
備考	

原子力に関する不正確と思われる情報シート

担当者名	9月-2	
掲載日		平成22年9月11日
新聞またはサイト名		新潟日報9-11朝刊34面
タイトル		耐震補強へ公開質問
不正確と思われる内容		東電柏崎原発に反対する住民団体「原発からいのちとふるさとを守る県民の会」は10日、同原発5号機の「耐震補強が不十分ではないか」として、原発の安全性を検討する県技術委員会に公開質問をした。
情報に対するコメント		柏崎刈羽5号機の耐震安全性については、平成22年8月31日、新潟で開催された住民説明会にて保安院より報告されている。
情報の内容への対応		記事の内容を裏付けるデータを添付
記事のコメントに関する参考資料		http://www.hoanin-niigata-setsumeikai.jp/ http://www.hoanin-niigata-setsumeikai.jp/document/setsumeikai100831.pdf
備考		

原子力に関する不正確と思われる情報シート

1		平成22年9月15日
情報取得日		
担当者名		
掲載日		平成22年9月14日
新聞またはサイト名		河北新報 朝刊 3面
タイトル	起動プルサーマル 「再処理困難 行き場なし」	
① [REDACTED]の[REDACTED]は「使用済みMOX燃料に[REDACTED]は『燃えないプルトニウム』が多く含まれ、ウラン燃料以上に再処理は難しい。本当にできるのか技術的には疑わしい」と指摘する。	② 使用済MOX燃料を再処理する「第2再処理工場」は国の計画では、「2010年ごろ」に検討作業を始めるとされたが、まだスタートしていない。実際の運転開始は30～40年も先..「使用済みMOX燃料がどうなるのか、その法規的展望を早く示してほしい」…国や東電は、まだ明確な設計図を示していない。	① 使用済みMOX燃料の処理方法については、本HPの「プルサーマルのしくみと安全性」にて、処理方法、海外(仏・ラ・アーヴ)及び国内の実績、安全性について詳細に説明
不正確だと思われる情報の内容	② 第二再処理施設については、原子力政策大綱で以下のように記述されている。「中間貯蔵及びその後の処理の方策 使用済燃料は、当面は、利用可能になる再処理能力の範囲で再処理を行うこととし、これを超えて発生するものは中間貯蔵することとする。中間貯蔵された使用済燃料及プルサーマルに伴つて発生する軽水炉使用済MOX燃料の処理の方策は、六ヶ所再処理工場の運転実績、高速増殖炉及び再処理技術に関する研究開発の進捗状況、核不拡散を巡る国際的な動向等を踏まえて2010年頃から検討を開始する。」	現在検討は開始されていないが、内閣府原子力委員会の第36回定例会にて、「高速増殖炉サイクルの早期実用化に向けた取り組みについて」において、「再処理技術全体の研究開発計画」について(は本年度(2010)中に策定するとともに、2015年に再処理技術の実用化像を提示する。その際、軽水炉から高速増殖炉への移行期も勘案する。」とされている。
情報に対するコメント	情報の内容への対応	記事の内容を裏付ける資料で対応
記事のコメントに関する参考資料	① http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/cycle/plu_safety ② http://www.aec.go.jp/jicst/NC/iinkai/teirei/siryo2010/siryo36/siryo4.pdf	
備考		

原子力に関する不正確と思われる情報シート

2		平成22年9月16日
情報取得日		
担当者名		北国新聞 朝刊 他
新聞またはサイト名		平成22年9月14日
掲載日		青森の核燃料再処理工場レポート 再び延期「これが最後」
タイトル		不正確な情報ではないが、日本原燃(JNFL)の再処理工場の完成延期について、新聞によつて、回数が異なる。 本件は、2006年の試運転以来9回目となつてゐるが、1993年の着工以来18回目となつてゐる。 掲載された記事の延期回数は以下の通り。
不正確だと思われる情報の内容		
1993年以降18回目 東奥日報 9/11朝刊 日経新聞 9/16 朝刊社説		
2006年試運転開始以降9回目 北国新聞 9/14 朝刊		
JNFLのホームページには、今回の再処理工場2年延期について、社長に両記者会見を掲載しており、計画について公開している。計画延長の回数については特に掲載されていない。 不正確ではないが、単に回数のみを見た場合、読者に誤解を与える場合がある。		
情報に対するコメント		
情報の内容への対応		
記事のコメントに関する参考資料		
備考		

原子力に関する不正確と思われる情報シート

3	情報取得日	平成22年9月17日
	担当者名	
	掲載日	平成22年9月16日
	新聞またはサイト名	福島民友 朝刊 4面
	タイトル	2010知事選 点検 福島県政【3】原発情勢変化を確認 [の]は危険を指摘する意見
	不正確だと思われる情報の内容	[の]は危険を指摘する意見 があるプルサーマルを容認する理由がわからないと話す。
	情報に対するコメント	プルサーマルについては、本HPの「プルサーマルのしくみと安全性」にて、処理方法、安全性について詳細に説明
	情報の内容への対応	記事の内容を裏付ける資料で対応
	記事のコメントに関する参考資料	http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/cycle/plu_safety
	備考	

原子力に関する不正確と思われる情報シート

4		平成22年9月17日
情報取得日		
担当者名		
掲載日		平成22年9月17日
新聞またはサイト名		朝日新聞 朝刊 35面
タイトル	「原子力は安価な電源とは言い難い」7日、原子力委が聞いた有識者から意見 聴取する会合で、[]の[]は問題提起した。[]は電力会 社の公表資料から実績で越すとを試算した。立地に伴う交付金などの周辺費用 も加えた。電事連の資産と単純比較はできないが、1970年～2007年の合計で は、1kW時あたり)原子力10.68円、火力9.90円、水力7.26円だった。	揺らぐコスト 負担先行
不正確だと思われる情報の内容 に対するコメント	不正確ではないが、電事連による試算は原子力5.3円、石炭5.7円、石油10.7円と 評価。記事にも単純比較は出来ないとしているが、原子力発電に関する費用換 算として、試算方法によつては、原子力発電が安価ではないといつう一例となつて いる。 []の試算は、赤旗新聞で取り上げられている。	
情報の内容への対応		記事の内容を裏付ける資料で対応
記事のコメントに関する参考資料	http://www.jcp.or.jp/akahata/alk10/2010-05-26/2010052615_01_1.html	http://www.fepc.or.jp/faq/1189748_1457.html
備考		

原子力に関する不正確と思われる情報シート

5								
情報取得日								
担当者名								
掲載日								
新聞またはサイト名								
タイトル								
不正確だと思われる情報の内容								
情報に対するコメント								
情報の内容への対応								
記事のコメントに関する参考資料								
備考								

情報取得日

平成22年9月17日

担当者名

平成22年9月17日

掲載日

日本経済新聞 夕刊 2面

新聞またはサイト名

ニュースの理由 再処理工場、運転2年延期 核燃料サイクル産業

タイトル

…再処理工場が動かない、3、4年でプールが満杯になり、燃料を交換出来ず…に停止に追い込まれる原発がおかない。

不正確だと思われる情報の内容

その対策として急浮上したのが原発の敷地外で使用済み塩嶺を保管する「中間貯蔵」だ。国の原子力委員会や経済産業省は「5千トン規模の施設が国内に3～6箇所必要」と試算。第1号押して東京電力などが8月末、青森県むつ市で3千トン規模の貯蔵施設を着工した。12年から受入を始める。

情報に対するコメント

不正確な情報ではないが、「中間貯蔵」についての説明及び、むつ市において中間貯蔵施設が8月31日に着工しているため新たなQ&Aを作成する必要があると思われる。

情報の内容への対応

記事の内容を裏付けるデータを添付

記事のコメントに関する参考資料

ウェブ用Q&Aデータ作成する必要あり

記述のURL

<http://www.fepc.or.jp/present/cycle/chozou/index.html>

記述のURL

<http://mainichi.jp/select/science/news/20100901k0000m040035000c.html>

記述のURL

<http://www.city.mutsu.lg.jp/index.cfm/15,1312,30,226.html>

備考

原子力に関する不正確と思われる情報シート

6							
情報取得日							平成22年9月20日
担当者名							
掲載日							平成22年9月19日
新聞またはサイト名							河北新報 朝刊 3面
タイトル							福島ブルサーマル起動遅れ 点検確認甘さ露呈
不正確だと思われる情報の内容							<p>福島電力福島第1原発3号機(福島県大熊町)のブルサーマルは準備作業の土壇場でトラブルが起き、計画より10時間以上も遅れた。トラブルがあつたのは緊急炉心冷却装置(ECCS)の一つの炉心スプレー系という重要な安全装置。福島第1原発でのブルサーマルは東電にとつて「悲願」だったが、その重要な局面においてなお、点検や確認の甘さが露呈した。</p> <p>…3号機が立地する[...]は「国と事業者はスケジュールありきではなく、安全と安心を最優先に取り組んでほしい」とコメントした。</p> <p>…[...]は、「やるべき点検や確認を東電がやつていなかになつた。…準備が不十分なまま起動ありきで進めた結果。県民の安全をないがしろにしている」と批判した。</p> <p>ブルサーマルについては、本HPの「ブルサーマルのしくみと安全性」にて、処理方法、安全性について詳細に説明。</p>
情報に対するコメント							記事の内容を裏付けるデータを添付
情報の内容への対応							http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/cycle/plu_safety
記事のコメントに関する参考資料							
備考							

原子力に関する不正確と思われる情報シート

情報取得日	7	平成22年9月21日	
担当者名			
掲載日		平成22年9月19日	
新聞またはサイト名		新潟日報 朝刊 29面	
タイトル		柏崎原発 地元 容認と反対交錯	
不正確だと思われる情報の内容		一方、[REDACTED]のは「いつかは国や東電が柏崎刈羽にプルサーマル計画を押しつけてくるはずだ」と警戒。「トラブル隠しで計画は白紙になつてゐるが、技術的な安全性はその時から進んでいふとは思えず、信 用はできない」と述べた。	
情報に対するコメント		プルサーマルについては、本HPの「プルサーマルのしくみと安全性」にて、処理方法、安全性について詳細に説明。	
情報の内容への対応		記事の内容を裏付けるデータを添付	
記事のコメントに関する参考資料		http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/cycle/plu_safety	
備考			

原子力に関する不正確と思われる情報シート

8		平成22年9月28日
情報取得日		
担当者名		
掲載日	平成22年9月25日	
新聞またはサイト名	南日本新聞	朝刊 5面
タイトル	川内原発増設「知事判断は市民目線で」	
不正確だと思われる情報の内容	2段目最終行から3段目初め 「稼働中の2基との因果関係は不明だが、周辺海域で魚や海藻が減ったという漁協関係者の訴えに不安を抱く市民もいる」	
情報に対するコメント	不正確ではないが、原子力発電所や温排水が周辺の漁業に影響が出ているか否かについては、九州電力では現在までには影響はないとしており、周辺の環境モニタリングを実施、公表している。今後も継続して周囲のモニタリングを継続していく。 また川内原子力発電所ある、薩摩川内市では、原子力広報として、定期的周囲環境についての情報提供を実施している。	
情報の内容への対応	記事の内容を裏付ける資料で対応	
記事のコメントに関する参考資料	http://www.kyuden.co.jp/notice_sendai3_faq_environment.html http://www.city.satsumasendai.lg.jp/www/.../html/common/other/4c7db6338023.pdf	
備考		

原子力に関する不正確と思われる情報シート

9		
情報取得日		平成22年10月7日
担当者名		
掲載日		平成22年10月5日
新聞またはサイト名	福井新聞 朝刊	2面
タイトル	県内原発使用済燃料 10年代後半に貯蔵容量超え	
不正確だと思われる情報の内容	<p>青森県六ヶ所村の使用済み核燃料再処理工場の完成が2年延期されたことを契機に、原発で出る使用済み燃料を搬出できず構内でたまり続け、近い将来に運転に支障をきたしかねないという課題が再び全国で持ち上がりつつある。…まったく搬出できない状態が続いた場合、2010年代後半には貯蔵可能な管理容量を超えてしまう見通しだ。</p>	
情報に対するコメント	2010/9/24に報告した不正確情報(5)と同じ種類の不正確情報である。 記事の内容を裏付けるデータを添付	
情報の内容への対応	<p>ウェブ用Q&Aデータ作成する必要あり</p> <p>http://www.fepc.or.jp/present/cycle/chozou/index.html</p> <p>http://www.city.mutsu.lg.jp/index.cfm/15.1312.30.226.html</p>	
記事のコメントに関する参考資料		
備考		

原子力に関する不正確と思われる情報シート

10			
情報取得日		平成22年10月8日	
担当者名			
掲載日		平成22年10月6日	
新聞またはサイト名		東奥日報 朝刊 2面	
タイトル	原燃社長「2年完工確信」 再処理工場延期・県議会特別委「固化技術未熟」の声も		
不正確だとと思われる情報の内容	…国産技術を取り入れたがラス固化体(高レベル放射性廃棄物)製造試験が難航している点について、複数の委員からは「商業用の技術としては未熟」「フランスから技術導入してもいいのではないかなど厳しい意見も出た。		
情報に対するコメント	日本のガラス固化体の製造技術については、日本原燃のサイトで詳細に説明されている。		
情報の内容への対応	記事の内容を裏付けるデータを添付		
記事のコメントに関する参考資料	http://www.infli.co.jp/business-cycle/4_haikibutsu/haikibutsu_03/_03_01.html http://www.infli.co.jp/business-cycle/4_haikibutsu/haikibutsu_03/_04_01.html http://www.infli.co.jp/business-cycle/4_haikibutsu/haikibutsu_03/_03_02.html http://www.infli.co.jp/business-cycle/4_haikibutsu/haikibutsu_03/_04_05.html http://www.infli.co.jp/business-cycle/4_haikibutsu/haikibutsu_03/_04_06.html		
備考			

原子力に関する不正確と思われる情報シート

情報取得日	11	平成22年10月12日
担当者名		
掲載日		平成22年10月9日
新聞またはサイト名	朝日新聞 朝刊	201面
タイトル	フロントランナー 「生きる権利全う」には『知る権利』が必要 廣河隆一	
不正確だと思われる情報の内容	朝日新聞 10月9日 朝刊 フロントランナー インタビューアー記事 「一原発事故の取材で現地に入ったとき身体が放射能に汚染されたという不安はなかったのですか」 記録に残さなければといふ気持ちの方が勝った。…… 放射能の検知器を持つて行つたが何度も吐き気がし、のどや腹に激痛が来た。案内してくれた人の半分以上ががんで亡くなりました」	
情報に対するコメント	不正確な情報ではないが、 Chernobyl accident に関連した、情緒的な記事が記載されている。情緒的であるので、客観的データに基づく反論が難しいものと考えられる。	
情報の内容への対応	特になし	
記事のコメントに関する参考資料	特になし	
備考		

原子力に関する不正確と思われる情報シート

情報取得日 12	平成22年10月22日
担当者名	
掲載日	平成22年10月20日
新聞またはサイト名	山口新聞 朝刊 4面
タイトル	「上関原発建設は生態系壊す」COP10会場で市民団体訴え
不正確だと思われる情報の内容	<p>名古屋市での生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の会場で19日、中郷電力が「生みを守れ」を進める上関原発(上関町)に反対する私印団体が記者会見し、「予定地の海は希少な鳥や回などさまざまな生き物の生息地。取り返しがつかないほど生態系を破壊する可能性がある」と建設計画の中止を訴えた。「長島の自然を守る会」</p> <p>「長島の自然を守る会」は1999年9月に発足し、日本生態学会などの研究者との調査成果を基に、環境アセスメントのやり直し(2000年)、山口県レッドデータブックへの長島の希少生物登録要望(2001年)、四代八幡宮神社地保全の要望(2002年)、詳細調査ボーリング調査を実施している。</p> <p>上関原子力発電所の建設に関しては、中国電力が、ホームページにて、準備期間及び工事期間、建設後の運転中における環境保全措置を公表している。生態系については、すでに調査を開始、結果を公表しており、保護する体制を整えている。</p>
情報に対するコメント	記事の内容を裏付ける資料で対応
情報の内容への対応	
記事のコメントに関する参考資料	http://www.energia.co.jp/atom/kami_eco1_1.html http://www.energia.co.jp/atom/kami_eco1_2.html http://www.energia.co.jp/atom/kami_eco2_4.html http://www.energia.co.jp/atom/kami_eco3.html http://www.energia.co.jp/atom/kami_eco4.html
備考	

原子力に関する不正確と思われる情報シート

13

情報取得日	13	情報取得日	平成22年10月29日
担当者名		掲載日	平成22年10月28日
新聞またはサイト名		新聞またはサイト名	静岡新聞 朝刊29面
タイトル		タイトル	浜岡原発の運転 停止求め署名提出
不正確だと思われる情報の内容	原発への対応は危機管理の問題だと指摘。運転を安全に停止して炉心冷却を維持し続けることにより原発震災のリスクを大幅に減らすことが可能になる。	不正確だと思われる情報の内容	東海地震が発生した場合、浜岡原子力発電所が爆発し災害が発生するという考え方に基づいて、原子炉の停止を求めていながら、中部電力では、東海地震に対する対応策をホームページにて報告している。 また、「よくある質問」においても「浜岡原発の地震対策について」として、地震関連の問い合わせに対する回答を詳細に掲載している。
情報に対するコメント		情報の内容への対応	記事の内容を裏付けるデータを添付
			http://www.chuden.co.jp/energy/hama_jishin/index.html
			http://www.chuden.co.jp/energy/hamaoka/hama_jishin/taishin/index.html
			http://www.chuden.co.jp/energy/hamaoka/hama_jishin/taishinsekkai/index.html
			http://www.chuden.co.jp/energy/hamaoka/hama_jishin/taishinseii/index.html
			http://www.chuden.co.jp/energy/hamaoka/hama_jishin/hama_tsunami/index.html
			http://www.chuden.co.jp/energy/hamaoka/hama_jishin/hama_taishinkoii/index.html
			http://www.chuden.co.jp/faq/faq_hama_jishin/index.html
		備考	

原子力に関する不正確と思われる情報シート

14

情報取得日	平成22年11月1日
担当者名	
掲載日	平成22年11月1日
新聞またはサイト名	日刊工業新聞 朝刊 2面
タイトル	日越首脳会談「原発2基、受注内定」
不正確だと思われる情報の内容	日本の受注が内定したのは南部ニントアン省に建設する発電能力1000万キロワット級の2基で、
情報に対するコメント	100万キロワット級の間違い。ウェップ記事でも同様の間違いが掲載されている。
情報の内容への対応	特になし
記事のコメントに関する参考資料	特になし
備考	日刊工業新聞で訂正記事が出ればオローする。

原子力に関する不正確と思われる情報シート

15

情報取得日	平成22年11月9日	
担当者名		
掲載日	朝日新聞 毎日新聞	11月7日 11月9日
新聞またはサイト名	朝日新聞 毎日新聞	朝刊6面 朝刊6面
タイトル	核物質輸送に抗議 原発列車を止めろ(毎日新聞)	3千人排除(朝日新聞)
不正確だと思われる情報の内容	<p>フランスからドイツへ、高レベル放射性廃棄物への輸送について、朝日新聞及び毎日新聞に誤情報が記載されていた。</p> <p>朝日新聞: タイトルで、「核物質輸送」となっていた。 每日新聞: (本文)列車が積んでいるのは原発から出した使用済み核燃料</p> <p>・ドイツにおける返還廃棄物輸送反対活動に係わる記事は、朝日新聞11月9日朝刊、毎日新聞11月9日朝刊に掲載されているが、いずれも「廃棄物」と「使用済燃料」を混同している。特に、毎日新聞の記事には「廃棄物」との表現が記事の中に全く使用されておらず、誤解を招く記事になっている。</p> <p>フランス AREVA社のサイトでは、「ガラス固化された放射性廃棄物(vitrified nuclear waste)」と表記されている。 また、AFPの日本語のニュースでは、タイトルで「核廃棄物の輸送列車を阻止、ドイツ」と表記されている。</p>	
情報の内容への対応	<p>記事の内容を裏付けるデータを添付</p>	
記事のコメントに関する参考資料	<p>http://www.areva.com/EN/news-8603/11th-return-of-nuclear-vitrified-waste-to-germany.html</p> <p>http://www.afpbb.com/article/environment-science-it/environment/2774157/6426013</p>	
備考		

原子力に関する不正確と思われる情報シート

16

情報取得日	平成22年11月11日
担当者名	
掲載日	平成22年11月11日
新聞またはサイト名	日経産業新聞 日経テレコン21 朝刊11面
タイトル	原発連続運転期間の延長申請
不正確だと思われる情報の内容	国内では…原子炉の停止を伴う細かなトラブルが日常的に起きており、
情報に対するコメント	「日常的に起きており」との表現は誤解を生む表現である。
情報の内容への対応	記事の内容を裏付けるデータを添付
記事のコメントに関する参考資料	http://www.iae.or.jp/energyinfo/energydata/data3029.html http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/japan_ene.pdf http://www.nucia.jp/ http://www2.ines.go.jp/atom-db/jp/index.html
備考	

原子力に関する不正確と思われる情報シート

17

情報取得日	平成22年11月15日
担当者名	[REDACTED]
掲載日	平成22年11月12日
新聞またはサイト名	北海道新聞／11月12日夕刊
タイトル	今日の話題 夢のエネルギー
不正確だと思われる情報の内容	高速増殖炉…安全性にも経済性にも問題があるのに見直されない点は、いったん始めたら止まらない巨大公共事業を連想させる。
情報に対するコメント	個人的意見が断定的に記されている。
情報の内容への対応	記事の内容を裏付けるデータを添付
記事のコメントに関する参考資料	http://www.iaea.go.jp/04/turuga/anncer/menu.html
備考	

原子力に関する不正確と思われる情報シート

情報取得日	18	平成22年11月16日
担当者名		
掲載日		平成22年11月18日
新聞またはサイト名		北海道新聞 朝刊3面
タイトル		プルサーマル 安易に推進はできない。
不正確だと思われる情報の内容	全体制的にプルサーマルについて、課題や問題点を強調している。 プルサーマル計画において、使用済のMOX燃料等課題があるのは事実であるが、問題点を強調しているため、否定的な内容となっている。	
情報に対するコメント		プルサーマル及びMOX燃料の内容説明については、Q&Aにて、説明されている。
情報の内容への対応		なるほど原子力A to Zにて対応済
記事のコメントに関する参考資料備考		

原子力に関する不正確と思われる情報シート

19		平成22年11月16日
情報取得日		
担当者名		平成22年11月25日
掲載日		北海道新聞 朝刊30面
新聞またはサイト名		泊のプルサーマル 反対訴えでも更新
タイトル	札幌の市民団体「脱原発クリーンエネルギー」市民の会は24夜、北電泊原発3号機(後支管内泊村)のプルサーマル計画に反対する緊急集会を札幌・大通公園で開いた。…集会では、「泊沖には新たな活断層の存在が指摘されており、国がプルサーマル計画を認めることは容認できない計画の撤回を要求する」	
不正確だと思われる情報の内容		<p>〔[REDACTED]の[REDACTED]らが日本地震学会で平成21年10月23日に発表し、指摘した泊沖の活断層の件を、受けている。</p> <p>原子力保安院では、同年11月14日に、北海道原子力防災センターの「1日検査官事務所(対話の集い)」にて、参加者からの質問に回答している。</p> <p>その次点では確認中であるとし、平成20年10月7日に泊3号機の原子炉施設の耐震設計審査結果に伴う安全評価結果にて説明。</p>
		<p>泊原発沖「活断層なし」(FujiSankei)よりH22.06.04紹介 北海道電力は3日、泊原発(泊村)の西側海底に未確認の活断層が存在する可能性が高いとの研究者の指摘を受けて行つた地質調査で、活断層の存在を否定する結果が得られたと発表した。調査結果は国に報告する。</p>
		<p>【以下 北海道新聞7月H22.07.20】 北海道電力泊原発(後志管内泊村)沖に新たな活断層がある可能性が指摘された問題で、経済産業省原子力安全・保安院は17日、泊原発周辺の地質調査を始めた。18日までの2日間で、泊村一同管内神恵内村の沿岸約30キロを調べる。</p> <p>新たな活断層については、[REDACTED]らが昨年10月、泊原発の西方沖15キロに存在する可能性があると指摘。これを受けて、北電はボーリングなどによる追加の地質調査を行い、今年6月に活断層を示す地形のずれは認められない、とする結果を発表していた。安全・保安院の調査は、北電の調査が適切だったかを確かめるのが目的。</p> <p>17日は、経産省の耐震・構造設計小委員会に所属する変動地形学、地質学の研究者が泊村滙水ノ溜地区で、海拔15~20メートルのがけに上り、約12万5千年前の地層の土を探取した。2日間で十数カ所を調べ、分析結果を公表する</p>
		<p>情報の内容への対応</p> <p>記事のコメントに関する参考資料</p> <p>備考</p>
		<p>[REDACTED] 記事の内容を裏付けるデータを添付</p> <p>http://www.hepco.co.jp/info/2010/1186925_1424.html</p> <p>保安院からの資料は未掲載のようであるが、北電が国宛に提出している。</p>

原子力に関する不正確と思われる情報シート

20				
情報取得日		平成22年11月29日		
担当者名				
掲載日		平成22年11月27日		
新聞またはサイト名	北海道新聞	朝刊12.32面		
タイトル	通産省 泊ブルサーマル許可 泊ブルサーマル許可 読めぬ将来コスト(朝刊2面) 許可、全国10原発11基 地元了解撤回で足踏みの事例も 今後のスケジュールは 反原発の市民ら抗議			
不正確だと思われる情報の内容	記事の内容が全体的に否定的になっている。 上記の記事に対して以下で説明している。 ・将来コストについて 中部電力のHPにてブルサーマルのコストについて試算説明している。その他道 庁北電でも説明文あり。 ・進捗状況及びスケジュールについては、Q & Aの「ブルサーマル計画の進捗」に て説明。適宜更新。 ・ブルサーマルの安全性については、Q & AのMOX燃料の安全性にて説明			
情報に対するコメント		記事の内容を裏付けるデータを添付		
情報の内容への対応				
記事のコメントに関する参考資料	以下のURLを参照して下さい。			
コスト 北海道庁	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/HokkaidoWeb/Templates/AuthoringTemplates/hokkaido/table/table.aspx?NRMMode=Published&NRNODGUID=%7b92DEC705-0629-4354-8226-24620D33CD52%7d&NRORIGINALURL=%2fsm%2fgat%2fpurusa-maru_QA%2ehtm&NRCA CACHEHINT=Guest#Q62			
コスト 北電	http://www.hepco.co.jp/ato_env_ene/atomic/pluthermal/index04.html			
コスト 中部電力	http://www.chuden.co.jp/energy/nuclear/nuclearfuel/advantage/index.html			
備考				

原子力に関する不正確と思われる情報シート

21	平成22年11月30日
情報取得日	
担当者名	
掲載日	平成22年11月28日
新聞またはサイト名	福島民友(朝刊24面)、北国新聞(朝刊36面)
タイトル	
不正確だと思われる情報の内容	<p>美浜1号機の40年超運転入りに連関して、井野東大名誉教授の「容器に使われる合金は放射線を浴びて劣化する。緊急時に注入された冷却水で、ひび割れが生じる恐れもある。」との、高経年化炉の原子炉圧力容器に関する懸念が示されている。</p> <p>この記事は、具体的な根拠に基づかず、不安をあおるような一方的な意見のみを記載し、バランスに欠ける内容である。</p> <p>原子力発電所内の設備、原子炉圧力容器、炉内構造物、一次冷却材配管、一次冷却材ポンプ、蒸気発生器、タービン等は、運転する間に、熱、圧力、水力、振動などの複合する力を受けて劣化する可能性がある。</p> <p>JNESのウェブにて、[REDACTED]が経年劣化について説明している。</p>
情報に対するコメント	
情報の内容への対応	
記事のコメントに関する参考資料	http://www.ines.go.jp/tokushu/keinen/grandmother/02.html
備考	圧力容器等の経年劣化に関するQ&Aを作成

原子力に関する不正確と思われる情報シート

22			
情報取得日		平成23年1月7日	
担当者名			
掲載日		平成23年1月6日	
新聞またはサイト名		静岡新聞 朝刊 28面	
タイトル	5号機再開中止訴え 市民団体 県に質問書		
不正確だと思われる情報の内容	<p>中部電力浜岡原発(御前崎市佐倉)に反対する市民団体「原発震災を防ぐ全国署名連絡会」は5日、浜岡原発5号機の運転再開中止を訴える公開質問書を川勝平太知事と「県防災・原子力学会議原子力分科会」宛に提出した。</p> <p>公開質問書は、2009年の駿河湾の地震を受けて、昨年実施し、国が認めた5号機の東海地震に対する耐震安全性の検証結果について、「上下方向に想定した搖れた小さすぎる」「揺れが続き時間が短すぎる」などと疑問を示し、県独自の検証を求めた。</p> <p>本件については、中部電力が調査を実施し、総合資源エネルギー調査会原子力安全・保安部会耐震・構造設計小委員会の、地震・津波、地盤・地質・地盤合同ワーキンググループおよび構造ワーキンググループにて報告済。</p> <p>なお、本件に関して、中部電力が公表している調査結果とは別途に、学術論文等について検索。</p> <p>北海道大学の専門の方に打診したところ、以下の回答を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜岡原子力発電所は、鹿島建設が担当していたことと、鹿島技術研究所に問い合わせしていただいた。 ・現状では、本件を裏付ける学術論文は見当たらないと言う回答を受けた。 ・このため、中部電力による調査結果が最新かつ根拠のある裏付け情報となる。 		
情報に対するコメント	記事の内容を裏付けるデータを添付		
記事のコメントに関する参考資料	http://www.chuden.co.jp/corporate/publicity/pub_release/press/3122767_6926.html		
備考			